



学びの虹

「三人のレンガ職人」とハンドサッカー

実は、読書が趣味です。手触り感が好きなので書籍です。リラックスしながらも考えさせられる本として「座右の寓話」（戸田智弘著 デイスクヴァー携書出版）があります。

この話には諸説あって、ここでは私の中で納得した話をします。

旅人が、旅の途中で3人のレンガ職人に会います。この旅人が「何をしていますか？」と尋ねると、

1人目は「言われたとおりレンガを積んでいるんだよ」

2人目は「世界で1番のレンガ職人になるために積んで壁をつくっているんだ。」

3人目は「皆が喜ぶ教会の大聖堂をつくっているんだ。この仕事に就けて光栄だよ」と答えました。



(毎日新聞より抜粋)

三人同じ作業（仕事）をしています。しかし、仕事に向かう姿勢（気持ち）が違います。1人目は、「やらされている」。2人目は、「自分のため」。3人目は「みんなのため」そして「感謝の心」があります。

2月15日（土）、東部地区でのハンドサッカー大会が行われました。10校出場し、本校は準優勝。メンバーが少ない中、よく頑張りました。そして素晴らしい試合でした。

本校のチームは、まさにレンガ職人の3人目です。

「ONE FOR ALL、ALL FOR ONE ~ひとりみんなのために みんなはひとりのために~」という言葉があるように、「全員でボールをつないで、シュートする人へつなぐ。」ただ「勝つため」ではなく、「みんなのために」「一人のシューターのために」全員で喜び・感謝する。試合の中で、ミスがあってもメンバー同士で助け合い、自分自身で考えながらミスをなくしていく。このようなチームに育てた学校スタッフや保護者の支援に感謝し、うれしく思います。

これらの話は、いろんなことに通じると考えます。アドラー心理学のアルフレッド・アドラーの言葉の中に、「人生におけるあらゆる失敗の原因は、自分のことしか考えていないことにある」というのがあります。これは主に対人関係について述べたものですが、大事にしたいものです。

今回は、本校の子供たちに学ばされました。本当にありがとう。

鹿本学園校長 堀江 浩子

～部活動紹介～

鹿本学園スポーツ競技部『ハンビーズ』絶賛活動中！部員も募集中です！

S部門中学部、高等部生を対象に、部活動参加希望者で「スポーツ競技部」として活動しています。活動日は、主に土曜日の午前中に体育館等を使って皆でスポーツに触れ、楽しみながら一緒に汗をかいています。取り組んでいる競技は、陸上競技（6月の東京都障がい者スポーツ大会に向けて）、ボッチャ（年間を通じて様々な大会に参加）、ハンドサッカー（2月に東京都大会に参加）です。ボッチャは、今年度「第9回全国ボッチャ甲子園」に出場するなど結果を競う大会はもちろん、みんなが楽しんで参加できるレクリエーション大会もあり、学習グループや身体の状態を問わずに皆でボッチャを楽しんでいます。そして、東京都発祥のハンドサッカーでは、障害の状態にかかわらず全ての生徒が参加でき、全ての生徒が輝き活躍できる魅力的な球技スポーツです。今年度は2月15日（土）に花畑学園で都大会が開催され、準優勝という結果を残すことができました。部活動に興味をお持ちの方は、気軽に参加してください。お待ちしております！！

